

# 理 科 学 習 指 導 案

令和2年 7月2日 (木) 第6校時 5年2組教室  
5学年2組 指導者 ○○ ○○

## 単元名「メダカのたんじょう」

### ③学びに向かう力・人間性等

動物の発生や成長について問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行うとともに、観察、実験の結果を基に考察を行い、より妥当な考えをつくりだそうとすることができる。

### ① 知識・技能

動物の発生や成長について理解し、観察、実験などに関する技能を身に付ける。

### ②思考力・判断力・表現力等

動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。

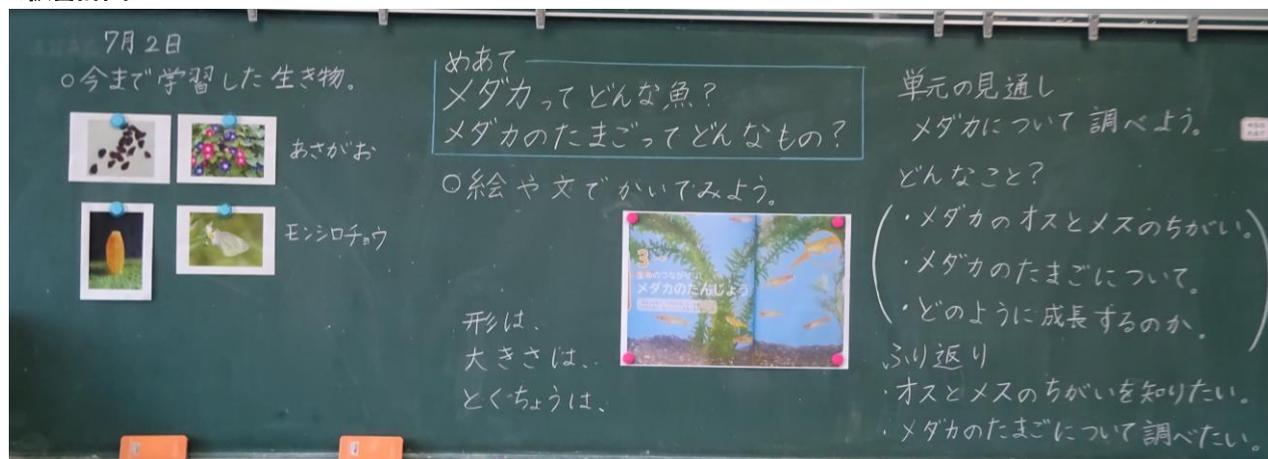
### 本時の学習：

<ねらい>メダカの絵を描くことで疑問点を見いだす活動を通して、メダカの誕生やメダカの卵内の成長に興味をもつことができるようにする。

#### 授業改善の視点

めあてを追究する過程において、児童が本物のメダカを見ずに絵や文章で説明し、その後に実物と比較したことは、児童がメダカについて「知っているようで知らなかった。」「もっと知りたい。」という思いをもち、興味・関心を高める上で有効であったか。

### <板書計画>



### <展開>

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。(13分)</p> <p>T: これまでに学習してきた生き物、植物は何がありますか。</p> <p>S: アオムシ (モンシロチョウ) です。</p> <p>S: 1年生ではアサガオを育てました。</p> <p>T: それぞれどのように成長するんだっけ?</p> <p>S: 昆虫は、卵→幼虫→成虫になると、途中でサナギになるのがあります。</p> <p>S: アサガオは種から双葉が出て、つるがのびて花が咲きました。</p> <p>T: いろいろな生き物を学習してきましたが、ここでは、「知っているようで知らない」ことを「知っている!」とはっきり言えるようになってもらいたいので、この魚について学習していきます。(</p>	<p>○既習事項を振り返り、生き物の成長についてどんなことを学習してきたか確認する。</p> <p>○アサガオ、モンシロチョウの写真を掲示し、イメージしやすくする。</p>

<p>黒板にメダカと書き、黒幕をかけた水槽を出す。)</p> <p>S: メダカだ。知っているよ。</p> <p>S: ぼくの家でも飼っている!</p> <p>T: じゃあメダカとその卵を絵で描き、文章で説明をしてみよう。</p> <p>S: え? 絵で描くの? どんな形だっけ?</p> <p>S: 卵はたしか・・・。</p> <p>T: めあてを決めましょう。</p>	<p>○あらかじめメダカの入った水槽を用意し、黒幕をかけておくことで興味・関心を引き出すようにする。</p>
<p>《めあて》メダカってどんな魚? メダカのたまごってどんなもの?</p>	
<p><b>2 めあてを追究する。(10分)</b></p> <p>T: さあ、どんな絵が描けたかな。</p> <p>S: よく描けたと思うけど、イマイチ自信がないなあ。</p> <p>S: 卵は絶対丸いと思うけど・・・。</p> <p>T: では、本物のメダカはどうなっているでしょう。</p> <p>S: 見てみたい。</p> <p>S: 調べてみたい!</p>	<p>○絵を描くのが苦手な児童には、魚はどんな形か、目はどのあたりにあるかななどを質問し、1つ1つかいていけるようにする。</p>
<p><b>3 考えを広げたり、深めたりする。(11分)</b></p> <p>T: では、ここに本物のメダカがいます。本来ならばみんなに近くで見てもらいたいのですが、新しい学校様式で、密にならないようにするため離れて見てもらうので、テレビに映します。よく見えないうちで、教科書P44の写真も見てください。</p> <p>S: こんな形だったのか!</p> <p>S: ヒレはこんな感じかあ。けっこう眼が大きいな。</p> <p>T: ちなみに、みんなが描いたのはオスですか。メスですか?</p> <p>S: え! 違いがあるの?</p> <p>T: 卵にも注目してください。モンシロチョウの卵との違いはどんなことがあるのかな?</p> <p>S: あ! 卵がお腹についている!</p> <p>S: 卵も詳しく見られるといいな・・・。</p> <p>S: たしかに知っているようで知らないことが多かったかも・・・。</p>	<p>○先に提示しておいた水槽の黒幕を外し、興味・関心を引き出す。</p> <p>○自分の考えたメダカと、本物のメダカとを比較し、新たな発見や疑問が引き出せるようにする。</p> <p>○既習事項のモンシロチョウのことを引き合いに出し、差異について考えることができるようにする。</p>
<p><b>4 単元の見通しをもち、本時の振り返りをする。(4分)</b></p> <p>T: では、これからの学習では「メダカについていろいろと調べる」学習をしていきましょう。</p> <p>T: どんなことを調べようか。</p> <p>S: メダカのオス・メスの違い。</p> <p>S: たまごのこと。</p> <p>S: どんなふうに育っていくのか。</p>	<p>○児童の言葉をもとに疑問点を整理しながら、単元の見通しが持てるようにしていく。</p>
<p>《単元で学習すること》メダカについて調べていこう。      [見通し] ・メダカのオス・メスの違い。 ・メダカのたまごについて。 ・どのように成長するのか。</p>	
<p><b>&lt;振り返り&gt; (7分)</b></p> <p><b>ふり返りの視点: 今日、自分が知っているようで知らなかったことは、どんなことですか?これから特に知りたいことはどんなことですか。</b></p> <p>S: オス・メスの違いがはっきりわからなかった。どんな違いがあるのか知りたい。</p> <p>S: 家でも飼っているからよく分かっているつもりだったけど、たまごは詳しく見たことがないな。学校の顕微鏡とかで詳しく見てみたいな。</p>	
<p>T: ところでこのメダカはどうする?</p> <p>S: 飼ってみたい!</p> <p>S: 教室で飼うといつでも見られるから成長の様子も分かるかも。</p> <p>T: それじゃあ、教室でも飼ってみよう。</p> <p>S: やったあ。</p>	<p>○教室内に水槽を用意し教室での飼育環境を整えることで、児童の興味が持続するようにする。</p>

7/2 授業改善研修 一人1研究授業 授業検討会

5年 理科 生命のつながり(2) メダカのたんじょう 5年2組担任

授業改善の視点、導入の第1時において、見せが本物のメダカと見ずに絵や文章で説明し、

その後実物と比較したことは、見せがメダカについて「知っているようで知らなかった。」「もっと知りたい。」という思いもち、これから課題

単元全体を通して課題を解決したいという意欲を高める上で有効であったか。

視点1

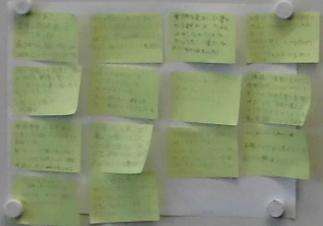
意識してなかったことを  
意識させていくこと大切。

既習事項 → 課題

単元全体への課題へもっていくための  
工夫はどうか、たか

何と比べ  
いるか。

↑  
どう導入したか  
説明したか...



視点2

想像、考えることしてから

算数 見取図 どうしたら  
うつくしうか。

既習事項の確認。  
「これに活用できるか」

製氷場、知っていること

根拠のある推論。

実物投影機、ICTの活用

